



# 12月定例市議会 市長所信

12月議会が12月5日から21日までの17日間の日程で開催されました。開会日には、議案審議に先立ち、当面する市政の重要課題につきまして、市長より所信が表明されます。今議会で表明された主な内容につきましては、次のとおりです。

紙面の都合上、抜粋して要旨部分のみ掲載しています。全文をご覧になりたい方は、市ホームページをご覧ください。  
また、後日作成されます市議会会議録は市立図書館等で閲覧することができます。

## 新庁舎建設事業

新庁舎建設工事にかかる入札が延期となり、当初計画していました平成27年度末の完成に遅れが生じることが危惧されており、非常に遺憾に思うとともに、議員各位をはじめ、市民の皆さま方には、多大なご心配をおかけすることになり、申し訳なく存じているところです。

こうした事態を重く受け止め、今後、1日でも早く開庁できるように全力を挙げて取り組んでまいりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

## 市制施行55周年

本市は、昭和33年5月に発足し、平成18年の那賀川町、羽ノ浦町との合併を経て、平成25年5月には市制施行55周年を迎えます。このことから、市役所内部で組織する阿南市制施行55周年記念事業推進本部におきまして、その企画および実施に関する協議検討を重ねているところです。

また、節目に当たる5月1日には記

念式典を挙行し、これまでの歴史を振り返るとともに、先人たちの功績をたたえ、感謝の意を表するものです。

本市では、第5次阿南市総合計画における将来像として「ひと、まち、心をつなぐ笑顔の光流都市」を掲げ、市民の皆さんが生き生きと輝き、安全安心に暮らすことができる幸せなまちづくりを推進しています。

こうしたなか、市制施行55周年を契機として、誰もが本市への深い愛着を持ち、人と人とのつながりを深め、市民と行政が丸となって今後のさらなる飛躍と発展に向けた力強い一歩とするため、「大好きふるさと阿南市」をテーマに記念事業を実施したいと考えているところです。

## 仮称「関西・阿南ふるさと会」の設立

言葉や文化等においてなじみの深い大阪を中心とする関西圏にも、本市とゆかりのある方が大勢いることから、多才な人材を掘り起こし、阿南市に目を向けていただくとうと、この度、大阪大学大学院工学研究科と連携協力し、

## 特定任期付職員の採用

去る9月から10月にかけて、ホームページのほか、日弁連の「ひまわり求人求職ナビ」により募集を行うとともに、10月25日には日弁連主催の「任期付職員登用セミナー」において、本市の情報に関するプレゼンテーションを行いましたところ、10人の方から応募がありました。書類選考では、弁護士実務経験1年以上の応募資格を満たしていない方、受付期間終了後に郵送された方を除いた8人を第1次合格者とし、11月22日の第2次個別面接試験を経て、最終的に1人を内定したところです。

今後、平成25年4月1日の任用に向けて準備を進め、政策法務部門の強化と併せ、職員の人材育成をはかってまいりますと考えています。

## イメージマスコットキャラクターの募集

近年、各地において「ゆるいマスコットキャラクター」、いわゆる「ゆるキャラ」が誕生しており、なかでも、熊本県の「くまモン」や彦根市の「ひこにゃん」などは、あたかもアイドルのごとく、幅広い年齢層に愛され、地域の活性化やまちおこしの大きな原動力となっております。

そこで、本市としても、阿南の魅力を発信するための象徴となるマスコッ

「ふるさと会」を立ち上げ、その設立総会を平成25年2月下旬に開催したいと考えています。

これにより、首都圏と関西圏の2大都市圏に「ふるさと会」が誕生することとなり、会員相互の交流や情報交換等をはかるなかで郷土愛が育まれ、本市を応援していただく機運がさらに高まるものと考えています。

また、本市と関西との地縁活用による企業間の技術交流や販路拡大等をテーマとした「広域連携産業振興シンポジウム」を同日開催することにしており、現在、その準備を進めているところです。

## 阿波遍路道の国史跡追加指定

平成24年11月16日に、国の文化審議会による文部科学大臣への答申が発表され、平成22年度に遍路道として四国初の国史跡に指定されています阿波遍路道「鶴林寺道 太龍寺道 いわや道」のうち「いわや道」の延長部と、第22番札所平等寺に向かう「平等寺道」の一部を含めた2・75キが新たに追加指

定されることになりました。

いわや道は「龍の窟」を経由しない遍路道で、道沿いには20基の舟形丁石、3基の道標、2基の遍路墓が建っており、古道の景観を保つとともに、これらの石造物が良好に残存し、条件がすべて整っていることから、この度の答申に至ったものです。

また、平等寺道の一部660坪につきましては、長年、使用されておりませんでしたので、今後、安全性を確認し、遍路道としての機能回復をはかるための整備を行う予定です。

本市にとりましては、後世に伝承すべき貴重な財産であることから、文化財保護法に基づく管理団体として、徳島県とも連携を図りながら、保存に努めたいと考えています。

なお、遍路道として初めて国史跡の指定を受けたことから、平成25年10月には、文化庁主催の「第12回全国歴史の道会議（徳島県大会）」が本市で開催される計画もあり、これを機に、阿波遍路道を全国にアピールするとともに、世界遺産への登録をめざしてまいります。

## 新ごみ処理施設整備事業

建設工事がいよいよ本格化し、本体の鉄骨組立とプラント機器設置を並行して実施しているところです。

施設整備にあたりましては、環境と安全に配慮し、ごみの焼却時に発生した熱による廃棄物発電や資源の有効利用を推進し、環境への負荷の低減に努めるとともに、環境学習および啓発の場となるよう整備をはかり、循環型社会形成の一翼を担う施設となることをめざしています。

また、市民をはじめ、多くの方々に関心を寄せていただく意味合いも兼ね、平成25年1月上旬から2月上旬の間において本施設の名称を募りたいと考えています。募集要項などの詳細につきましては、「広報あなん1月号」およびホームページに掲載し、広く応募を呼びかけることとしており、完成予想図や周囲の景観、また、環境保護などのイメージをもとに、市民の方々に親しみを感じていただける名称が多数寄せられることを期待するものです。

なお、今後、プラント機器等の搬入によりまして、工事関係車両の増加も予想される場所ですが、安全対策および環境保全対策につきましては、細心の注意を払いながら取り組んでまいりますので、近隣の皆さま方には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 子どもの医療費助成制度

本市では、平成23年4月から小学校6年修了までを助成対象としており、平成23年度では医療費扶助費として約2億4500万円を要しています。

しかしながら、次代の阿南市を担う子どもたちが、家庭の経済状況等にかかわらず安心して医療機関等で治療が受けられることや、長引く不況下での子育て家庭への経済的負担の軽減、また、少子化対策のさらなる充実の必要性など、時代の趨勢や子育て家庭への支援策について総合的に勘案した結果、平成25年4月から中学校修了まで子ども医療費の助成対象年齢に拡大したく、今議会に条例の一部改正を提案させていただきます。

なお、この改正によりまして、新た

## 阿南中学校校舎改築工事

阿南中学校は、昭和42年に旧富岡中学校と旧見能林中学校が統合して創設された中学校で、現在使用中の主たる校舎は、統合後の昭和44年に建設されたものです。以来43年が経過し、施設の老朽化の進行に加え、耐震性も著しく劣ることから、生徒の安全の確保および教育環境の充実と向上をはかるため、関係者の皆さま方のご理解とご協力を賜り、この度、全面的な改築に着手する運びとなりました。

事業概要は、鉄筋コンクリートおよび一部鉄骨鉄筋コンクリート造3階建て、延べ床面積8731・91平方メートルの新校舎と、鉄骨造平屋建て、延べ床面積1061・57平方メートルの駐輪場を建設することとしています。

今後の予定は、平成24年11月6日に総合評価方式による一般競争入札を実施し、すでに落札業者が決定しており、今議会でご承認を賜りましたら、年明け早々にも工事に取っかかり、平成25年度末に新校舎完成、その後、既存校舎の解体をはじめ、体育館の建設、さらにグラウンド整備を実施し、平成27年度末の完了を見込んでいます。